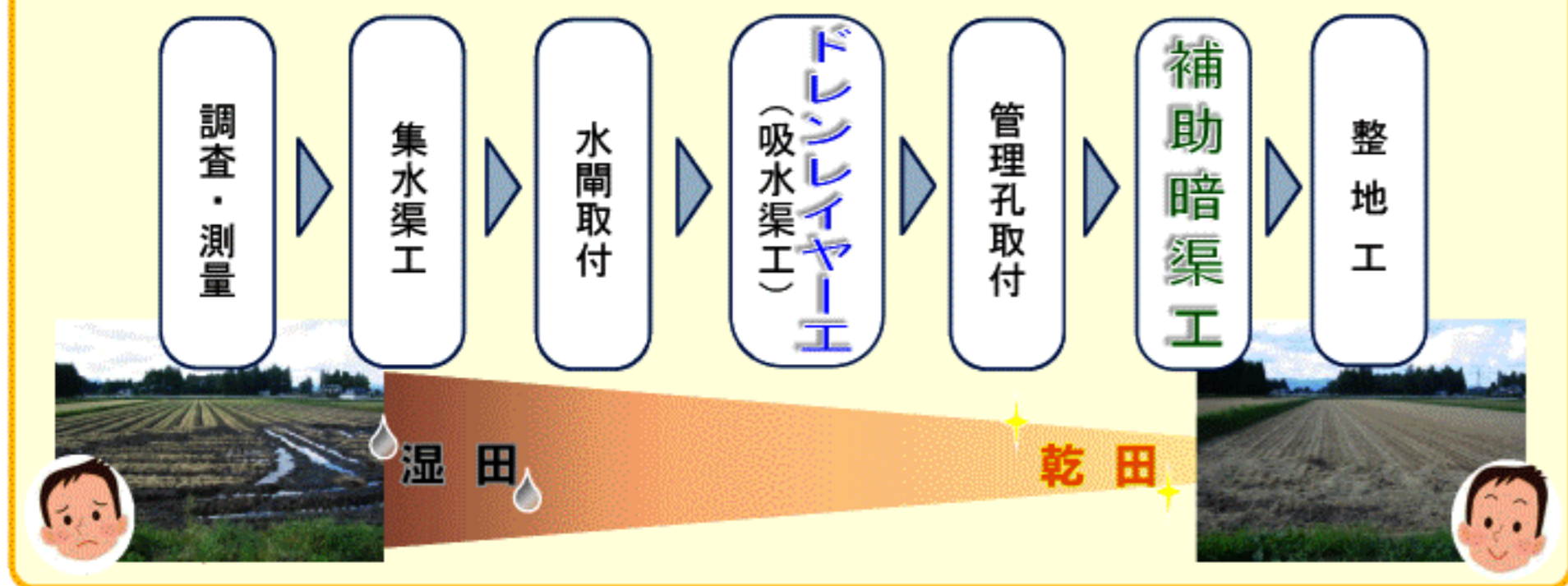


INK工法（自動埋設型暗渠排水工法）の施工手順



低コスト化への取組（シンプルタイプ）

補助暗渠工

施工間隔を2mから3mに。



(注意!!)
土質や地形条件によっては、適用できない場合もあります。

水 閘

水平式

操作形式を水平式からネジ式に変更。

(注意!!)
排水路が大きい等、現地の状況によっては安全性の面からネジ式を採用出来ない場合もあります。



ネジ式



管理孔

既製品

部材を、既製品から無孔ロール管とキャップの組み合わせに変更。

(注意!!)
土質によっては変形する場合もあります。



無孔ロール管+キャップ

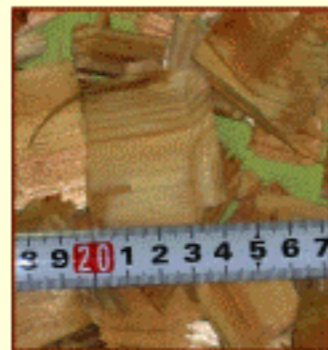


アラカルト

チップ工法

モミガラに代えて木材チップを疎水材に使うこともできます。

里山の手入れや、地域資源の有効活用(地産地消)などのため、ドレンレイヤー工の疎水材として『木材チップ』を利用。



掘削幅 10cm ⇒ 12cm
単価(概算) 42千円/10aアップ

水田のフル活用を目指して

～ あなたの湿田を

大豆も麦も、野菜も花も作れる乾田に～



ドレンレイヤー工 + 補助暗渠工

INK工法

自動埋設型暗渠排水工法



公益社団法人 岩手県農業公社

【本 社】
〒020-0884

盛岡市神明町7番5号 パルビル3階

TEL 019-651-2181

URL <http://www.i-agri.or.jp/>

【農地整備部】
〒025-0315

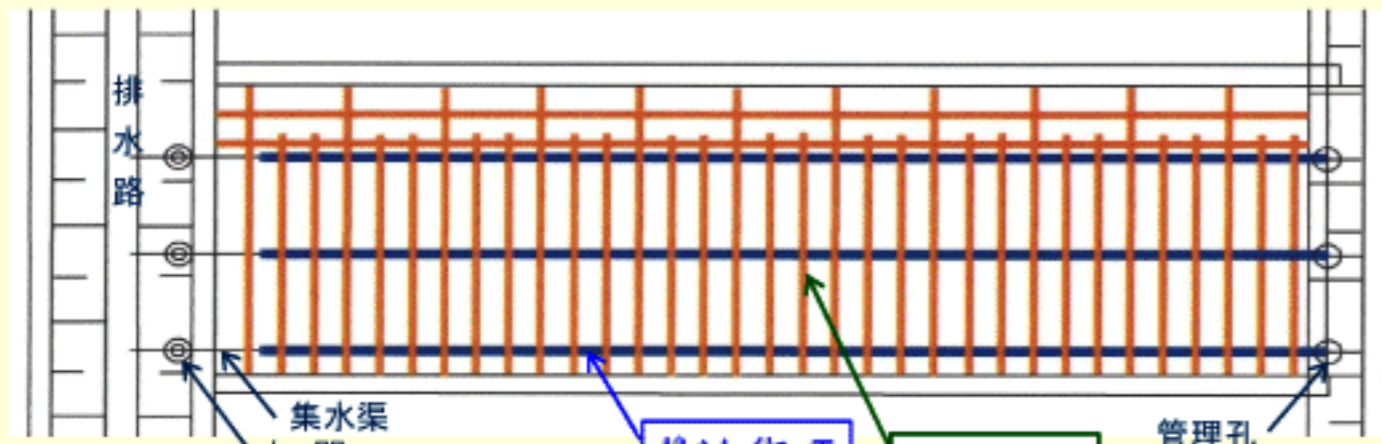
花巻市二枚橋町南一丁目46番3号

TEL 0198-26-1200

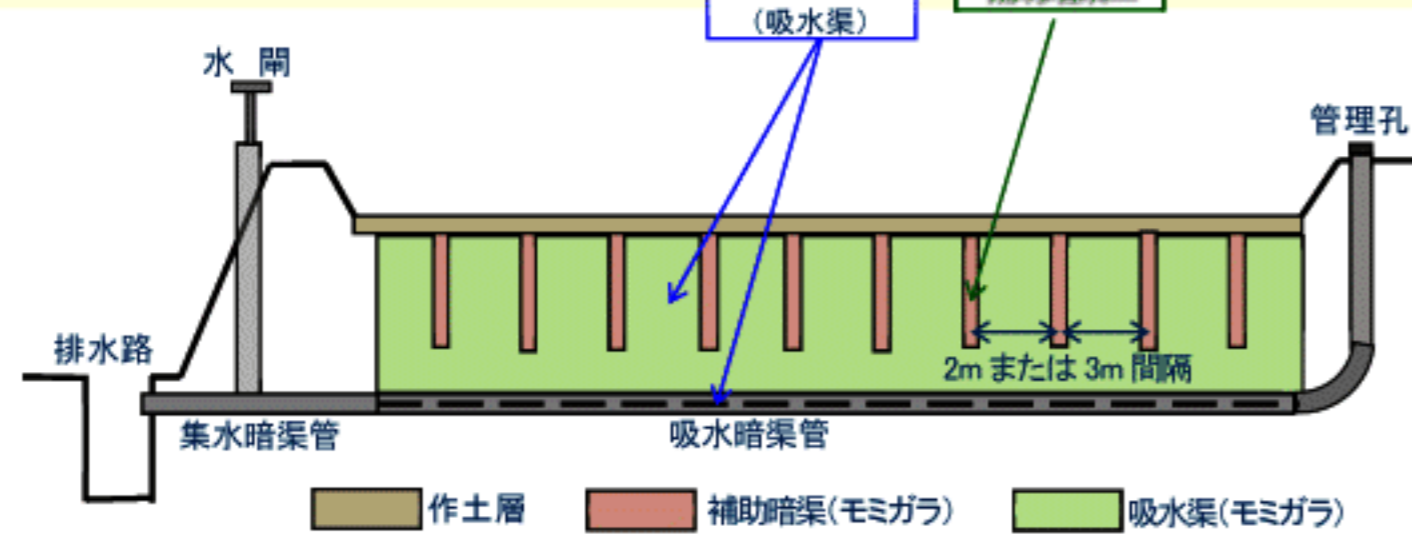
INK工法(自動埋設型暗渠排水工法)の概要

平面図

30a 区画(100m×30m)
ドレンレイヤー 10m 間隔
補助暗渠 3m 間隔

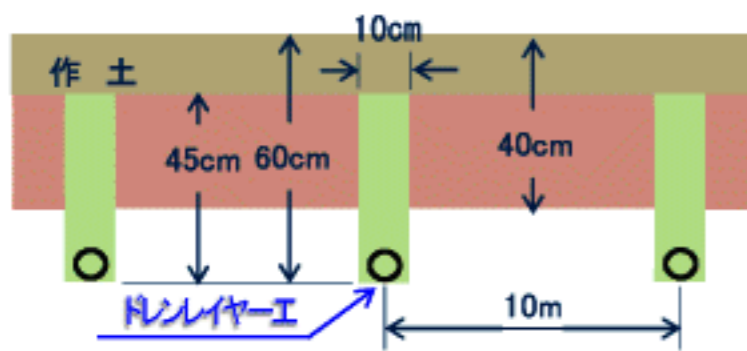


縦断面図



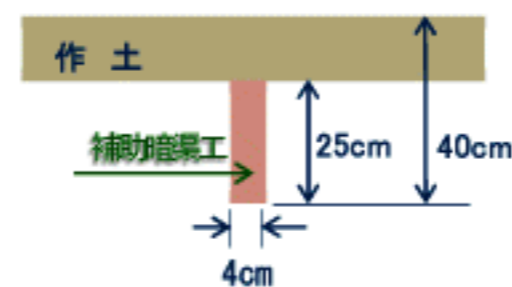
ドレンレイヤー工

暗渠パイプとモミガラを
専用の機械で埋設



補助暗渠工

ドレンレイヤー工に『直交』するよう
に、モミガラを埋設



ドレンレイヤー部
モミガラ



公社特許機械

補助暗渠部
モミガラ

補助事業を有効に使って『水田フル活用』を実現!!

暗渠の効果を実感!
推奨します!!

安価・簡易な
タイプです!

※ 土質や地形条件によっては
適用できない場合もあります。

スタンダードタイプ(基本的な施工方法)
(A 県営経営体育成基盤整備事業などの例)

工種	数量	単価(円)	金額(円)
集水渠工 φ60無孔管	12.0m	599	7,188
水開取付工 φ65 水平式	3 箇所	8,630	25,890
ドレンレイヤー工 (吸水渠工) φ50モミガラ	280.2m	467	130,853
管理孔取付 φ50 既製品	3 箇所	7,488	22,464
ソケット類	1 式		855
補助暗渠工 2.0m間隔	0.3 ha	363,115	108,935
整地工	0.3 ha	87,813	26,344
直接工事費		(322,529)	323,000
諸経費 ※	76.5%	323,000	247,000
消費税	8%	570,000	45,600
計			615,600
10a当たり			206,000

シンプルタイプ(簡易な施工方法)
(B 団体営農業基盤整備促進事業などの例)

工種	数量	単価(円)	金額(円)
集水渠工 φ50無孔管	9.0m	560	5,040
水開取付工 φ50ネジ式	3 箇所	2,366	7,098
ドレンレイヤー工 (吸水渠工) φ50モミガラ	280.2m	467	130,853
管理孔取付 φ50 ロール	3 箇所	5,669	17,007
ソケット類	1 式		606
補助暗渠工 3.0m間隔	0.3 ha	239,417	71,825
整地工	0.3 ha	87,813	26,344
直接工事費		(258,773)	259,000
諸経費 ※	78.1%	259,000	202,000
消費税	8%	461,000	36,880
計			497,880
10a当たり			166,000

注・ 上表は、30a 区画(100m×30m)、工事規模 5ha 程度を想定した場合のモデルケースです。
(単価は、平成 26 年 8 月現在)

- ・ 諸経費(共通仮設費、現場管理費など)は、工事規模の大小により変動します。
- ・ 実際の施工の際には、調査・測量を行い、必要となる管径や延長、接続部材の数量等を算出します。

トピックス

農業基盤整備促進事業の有効活用

【事業目的】

- ・ 暗渠排水や土層改良など、地域の状況に応じたきめ細かな基盤整備を速やかに実施。
- ・ 整備された農地を有効に活用して、自由度の高い作目の選択や、農地の利用集積などを推進。

【事業内容(一例)】

吸水渠(本暗渠管)の間隔が10m以下の暗渠排水の新設など

【助成内容】

- ◇ 15万円/10aの定額助成
- ◇ 中心経営体に集約化(面的集約)する農地については、助成単価を2割加算

助成金の有効活用

暗渠排水工事により、使い勝手の良い農地にグレードアップ!!

